

岩手県立一戸病院寝具・病衣補給及び洗濯等業務委託仕様書

岩手県立一戸病院（以下「病院」という。）の寝具・病衣補給及び洗濯等業務（以下「業務」という。）は、この仕様書の定めるところにより実施するものとする。

1 基本事項

業務を行うにあたっては、昭和 59 年 4 月 6 日付総第 15 号厚生省医務局総務課長通知（以下「厚生省通知」という。）によるほか、クリーニング業法等関係法令及び基準寝具業務取扱要領（昭和 50 年 3 月 24 日付医業第 163 号医療局通知）並びに契約に定めている条項に基づき、常に清潔に留意し、適正に処理するとともに、病院業務の運営に支障を来たさないよう業務を遂行するものとする。

2 作業場所

リネン室、リネン庫、洗濯室を作業場所とする。

3 作業日及び作業時間

土・日曜日及び祝祭日を除く平日の 7 時 00 分から 17 時 15 分（法定労働時間を遵守すること）までとする。ただし、休日が 3 日以上続く場合は、病院業務に支障がないよう 3 日に 1 度作業日を設定するものとする。

なお、業務スケジュールについては、別記 3 に基づき実施すること。

4 業務内容及び業務量

別記 1「寝具・病衣補給業務内容明細書」及び別記 2「洗濯等業務内容明細書」のとおりとする。

5 従事者の配置

受託者は、委託業務を実施するにあたり、委託業務が円滑に行われるよう以下により、従事者を配置するものとする。

- ① 従事者…業務の遂行が可能な健康な者とする。
- ② 資格・免許等…クリーニング師の資格を有する者を 1 名以上配置することとし、委託業務を着手する前に資格及び経験を証明する書類を提出しなければならない。
- ③ 届出…クリーニング所の届出は受託業者で行うこと。

6 従事者

- (1) 従事中は、常に清潔な制服を着用し、会社名、氏名を記載した名札を着けること。
- (2) 患者及び来院者に不快感を与えることのないよう、私語を慎み、言動、身だしなみ等には十分注意すること。
- (3) 業務上知り得た病院及び病院職員並びに患者等の秘密は、他に漏らさないこと。
- (4) 毎日の業務終了時には、総務課に様式第 2 号「基準寝具・病衣補給及び洗濯等業務報告書」を提出すること。

7 作業内容の徹底

受託者は、従事者に対し、この仕様書及び明細書の内容を周知させるとともに、作業に必要な知識・技能の習得、訓練及び接遇について指導すること。

8 責任者の選任

受託者は、病院との連絡調整等にあたらせるため、従事者の中から作業責任者 1 人を選任して、本業務開始前に病院に様式第 1 号「従事者名簿」とともに文書で報告すること。

9 消耗品等

寝具・病衣補給及び洗濯等業務に必要な洗剤等の消耗品は全て受託者負担とする。

10 緊急時の対応

火災、地震等の非常時には、病院の自衛消防隊員として病院の指揮下に入り、その対策に従事すること。

11 駐車場の利用

職員駐車場を利用する場合には、県立病院等職員駐車場の管理及び利用に関する要綱等に則り、職員駐車場利用の申請を行い、承認を得てから職員駐車場を利用すること。なお、職員駐車場利用の期間は病院長の承認を得た日から契約満了日までとする。

12 その他

- (1) 施設内は、その清潔保持に努めること。
- (2) 使用する物品及び電気、水道等の光熱水費の節約に努めること。
- (3) 業務に使用する設備等は、必要な点検及び整備を実施し維持管理に努めること。
- (4) 本仕様書にない業務にあっても必要と認める軽易な業務は実施すること。

岩手県立一戸病院寝具・病衣補給業務内容明細書

1 業務内容及び業務量

業 務 内 容	種 類	見込数量（1ヶ月）	備 考
退院に伴い発生した使用済の寝具・病衣の消毒・洗濯、保管及び整理	寝 具	80	
	病 衣	240	
病棟の寝具・病衣定期交換時における消毒・洗濯、保管及び整理	寝 具	1,700	
	病 衣	1,100	
中央処置室、救急室、心電図室等の使用済寝具の消毒・洗濯、保管及び整理	寝 具	20	
掛布団（毛布）の包布掛け	寝 具	700	

2 上記以外の業務

- (1) 各病棟からの伝票整理（毎日）
- (2) 寝具補給業務完了報告書の作成、各種伝票の記入・整理等（毎日）

3 業務上の留意事項

- (1) 消毒について

結核患者又は伝染の恐れがある患者に使用した寝具・病衣及びベッド・マット類については、管理者の指示に従い洗浄又は消毒すること。

- (2) 予備洗濯について

血液、その他分泌液等で汚染されたもの又は汚染の甚だしいものについては、洗濯室において予洗いをし、所定の場所に保管すること。

- (3) 納品について

- ① 補給時は、病院の検収を受けることとし、検収の結果不良となったものは、速やかに代用品により補給すること。
- ② 前記①に該当したときは、現品を保管し管理者に報告し指示を得ること。

岩手県立一戸病院洗濯等業務内容明細書

1 業務の内容

- (1) 病院業務運営上必要な洗濯物の洗浄・消毒及び乾燥処理
- (2) 洗濯物の破損、ボタン等の付属品脱着の取り付け及びほつれ等の補修
- (3) ボタン等の付属品脱着の取り付け

2 業務量

業務見込数量：1ヶ月当たりの見込み

品 名	見込数量	品 名	見込数量	品名(私物)	見込数量
タオルケット	260	便器カバー	10	エプロン	40
バスタオル	160	器材カバー	20	タオル	500
タオル	4,000	予防衣	20	タオル(小)	50
タオル(小)	3,500	術衣	80	バスタオル	450
入浴介助着	280	抑制帯(大)	10	タオルケット	10
エプロン	60	抑制帯(忠)	20	パンツ類	360
バスマット	80	抑制帯(小)	15	シャツ類	1,000
体位交換枕	35	ミトン	20	ズボン類	450
枕カバー	35	病室カーテン	30	靴下類	250

3 上記以外の業務

洗濯等業務完了報告書の作成、各種伝票の記入・整理等（毎日）

4 業務上の留意事項

- (1) 依頼された洗濯物の区分け
 病院から依頼を受ける洗濯物は、病院の指示を得て使用患者別（一般患者、結核患者又は伝染の恐れのある患者）に区分けして受け取ること。
- (2) 消毒について
 結核患者又は伝染の恐れがある患者に使用した洗濯物は、管理者の指示に従い消毒を行うこと。
- (3) 洗濯について
 - ① 血液、その他分泌液等で汚染されたもの又は汚染の甚だしいものについては、予洗いを行ってから洗濯を行うこと。
 - ② 破損、型くずれ又は収縮の恐れのある洗濯物は、ネットに入れて取り扱うこと。
 - ③ ガーゼ及び包帯類は、必ず洗濯前に薬品消毒を行うこと。
 - ④ 業務に必要な薬品、洗剤及び消耗品等は、病院の許可を得たものを使用すること。
 - ⑤ 洗濯物は、薬品及び洗剤等が残留しないようにすすぎ等を行うこと。
 - ⑥ 未洗濯物と洗濯を終えたものとは、区別して衛生的に取り扱うこと。
- (4) 納品について
 - ① 納品時は、病院の検収を受けることとし、検収の結果不良となったものは再度洗濯を行い、速やかに納品すること。
 - ② 前記①に該当したときは、管理者に報告するとともに原因追究を行い、管理者の指示により改

善すること。

|